

〔科目名〕 卒 業 研 究			〔単位数〕 4単位		〔科目区分〕 卒業研究科目	
〔担当者〕 金 子 輝 雄				〔授業の方法〕 演習		
〔演習テーマ〕 会計学・租税法を中心とする研究						
〔演習内容〕 卒業論文の作成に向けた研究指導を行います。*就活に配慮します。						
〔科目の到達目標〕 なぜ卒論を書くのか。本学の教育目標は、経営経済分野において、自ら諸問題を発見し、自らの力でこれに対する解決方法を見出すことができる教養ある専門人材の育成です。卒論の作成はその集大成です。研究を通して、より主体的・積極的な人間へと生まれかわれます。						
〔ディプロマ・ポリシー(DP)との関係〕						
学部				学科		
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3
○						○
〔前提条件〕 特にありません。						
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 卒業論文の内容によりますが、なるべく A 評価となるよう指導します。						
〔教科書等〕 研究テーマに即し文献を探してもらいます。また適宜こちらから紹介します。						
〔実務経歴〕 銀行業及び税理士事務所						
授 業 スケ ジ ュ ー ル						
時期	テーマと内容					
初回	ガイダンス 進め方、卒業論文の書き方、過去の卒論の紹介。 3年次末のレポートと類似のテーマでもよい。					
春学期	テーマの選定 ⇒ 関連する情報の検索 ⇒ 関連する文献の収集 ⇒ 文献の熟読 *就活優先で構いません。出席が不可能であればメールでの相談。必要であれば ZOOM を利用することもあります。					
秋学期	テーマの絞り込み ⇒ テーマはなるべく狭く(広すぎると教科書的な内容となり研究でなくなります) ⇒ 関連する文献・情報の収集、読み込み、検討。 * 個別的に原稿を読ませていただき、適宜、コメントします。3~5 回の個別指導(対面またはメール)。					
完成	期限 1 月末。(年内に終わらせる人も多数います。各自完成次第修了)					
卒業時	「卒業論文集」の配布					